結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和６年８月号
木城町自治公民館連絡協議会
自治公民館活性化支援員　大　津　　新

自治公民館での活動（取材報告）

１　夏の暑さを無事越えていくために！

６月 30 日（日）毎年恒例の中之又鎮守神社「夏越し大祓い」の神事、夏祭りが、地区の方々、地区に所縁の方々で開催されました。当日は、旧中之又小学校の山村留学生の皆さんも参加され、地区の方々の手ほどきで、神楽の練習も行われました。このような取組を通して、地縁的なつながり、伝統文化の継承が図られています。

２　共同、共汗の活動で地域の環境美化を！

７月７日（日）各地区で環境美化活動が行われました。朝からとても暑かったのですが、早朝から活動が進められていました。また、終了後の集まりでは、町民ミニバレーボール大会の結果報告やキオビエダシャクの駆除についての情報提供も行われていました。

さらに、岩渕地区婦人会・子ども会の皆さんが、岩渕大池農村公園のトイレ清掃を毎月定期的に実施してくださっています。

これらの他にも各地区で活動が進められています。

令和６年度宮崎県公民館経営セミナー

７月 10 日（火）西都原考古博物館で宮崎県公民館経営セミナーが開催されました。日向市東郷町福瀬区の実践発表がありました。少子高齢化による加入率、地区生活機能の低下が課題であり、「福祉共生社会の構築」「災害に強い地域づくり」をテーマに取り組まれているということでした。また、テレビでおなじみのジェイミー・ハーバード氏による「オーストラリアから来たみやざき人」という講演があり、外国人の方々を含めた地域づくりについて考える機会となりました。

地域の防災力・減災力を高める！

白木八重自治公民館に今年度から「自主防災組織」が発足しました。７月 11 日（木曜日）地区定例会、読書活動に合わせ、防災研修・防災訓練を実施されました。まず初めに、被災時の電源機材、時短調理器具等について確認していただきました。その後、総務財政課の佐々木危機管理係長から防災マップを使って地区内の危険箇所を説明していただき、台風や大雨、地震による土砂災害に対して、再確認していただきました。また、能登地震や豪雨災害等の被災時、被災後の映像を使って、「どんなことが実際に起こり」、「どんな準備が必要なのか」ということを学んでいただきました。さらに、社会福祉協議会の木下さんからハイゼックス米の炊き出しについて教えていただき、全員で実際に体験されました。当日、簡易水道が大雨で濁っていたのですが、ハイゼックス米を炊飯する鍋の水（お米と一緒に入れる水とは別）に活用できるという実体験されました。今回の防災研修・防災訓練を通して、お互いの協力（互助）、災害に対する備えの重要性を実感されていました。

第２回自治公民館連絡協議会役員会

７月 18 日（木）令和６年度の自治公民館連絡協議会の第２回役員会を開催しました。「町民ミニバレーボール交流大会」の報告、８月 27 日（火）に予定されている第２回自治公民館長会、九州公民館研究大会について協議しました。公私ご多用の中、お集まりいただき、ありがとうございました。

テレビやネットでよく見聞きする「ＳＤＧｓ」ってなあに？（5）

今回から SDGｓの 17 の目標について紹介します。

５ ジェンダー平等を実現しよう

世界は「ミレニアム開発目標（MDGs）」（初等教育への男女平等のアクセスを含む）のもとで、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントを前進させましたが、**女性と女児は依然として、世界各地で差別と暴力に苦しんでいます。ジェンダーの平等は基本的人権であるだけでなく、平和かつ豊かで持続可能な世界に必要な基盤でもあります。**残念ながら現時点で、15 歳から 49 歳の女性と女児の５人に１人は、最近の 12 カ月以内に親密なパートナーから身体的または性的な暴力を受けたと報告していますが、今でも 49 カ国には女性を家庭内暴力から守る法律がありません。児童婚や、最近の 10 年間で 30%減少した女性器切除術（FGM）など、有害な慣行については前進が見られるものの、このような慣行を全廃させるためには、さらに多くの取り組みが必要となります。**女性と女児に教育や医療、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）への平等なアクセスを提供し、政治的・経済的意志決定プロセスへの参画を可能にすれば、持続可能な経済が促進され、社会と人類全体に利益が及ぶことでしょう。職場での男女平等と、女性に対する有害な慣行の根絶に関し、新たな法的枠組みを導入することは、全世界の多くの国で広く見られるジェンダーに基づく差別に終止符を打つうえで欠かせません。**

＜国際連合広報センター資料引用＞